

# 経営効率化の概況

# 2020年度の経営効率化の取り組み

- 北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、カイゼン活動などの取り組みを通じ、資機材調達コストの低減や工事工程の見直しなど、効率化・コスト低減の積上げとして、433億円の効率化を達成しました。

費用項目	主な取り組み内容	2020年度
人件費	・5,000人体制に向けた業務効率化による給料手当の削減	6億円
需給関係費	・工事工程の見直し （苫東厚真発電所等の定期検査期間短縮による燃料費の低減） ・スポット購入によるLNG調達費の低減 ・卸電力取引所からの安価な電力購入による燃料費の低減	216億円
設備投資関連費用	・新工法の導入による工事費の低減	3億円
修繕費	・競争拡大に向けた取り組みなどによる資機材調達コストの低減 ・工事内容・工法、工事実施時期の見直し （設備補修工事の厳選、工事・点検周期の見直し）	149億円
諸経費等	・競争拡大に向けた取り組みなどによる資機材調達コストの低減 ・情報処理費用の低減 （システム開発工程の見直し、システム運用費用の削減）	59億円
合計		433億円

※電気料金値上げ時にお示した効率化計画については、すでに取り組みとして定着しており、送配電部門の法的分離を機に2020年度からは、北電グループ経営基盤強化推進委員会の取り組みの成果を経営効率化実績として記載

※北海道電力株式会社と北海道電力ネットワーク株式会社の合計値を記載

- 当社は今後も、さらなる成長を遂げていくため、ほくでんグループ一体となって中長期を見据えて、効率化の取り組みを強力に進めていくことが必要と考えています。
- このため、2021年度についても北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、カイゼン活動などの取り組みを通じ、効率化・コスト低減を一層強力に進めていきます。